

中学校第二学年 国語 調査票

() 組 () 番 氏 名 ()

注意 1 はじめに放送を聞いて答える問題があります。必須なことは、左の(ヌモ欄)にメモをとりながら聞いてもかまいません。
2 放送で指示があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。

1 (聞き取りの問題)

調査時にはここに絵画作品が入る

【山田さんが選んだ絵画作品】

調査時にはここに絵画作品が入る

【森くんが選んだ絵画作品】

(ヌモ欄)

中国-1

2 次の一〜三に答えなさい。

- 一 次の(1)〜(3)の一線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。
- (1) 多くの乗来を使える。
 - (2) バスの乗降客を運べる。
 - (3) 言葉の意味を判断する。
- 二 次の(1)〜(3)の一線部のカタカナの部分を書き直して漢字に書き改めなさい。
- (1) 近所にオオナシならの友達がいる。
 - (2) 同じケイレシカの名前であつかう。
 - (3) 母は、法律のウチノモトである。
- 三 次の(1)〜(2)の文を讀んで使われている漢字を二つずつ抜き出し、それぞれ正しい漢字に書き改めなさい。
- (1) 次の図書委員会では、校内読書週間でも多くの生徒に本を借りてもらうために必要な本立てについて検討する予定です。
 - (2) 先生は運動部員として練習熱心だが、休日は家族に使われる品物を回収する地域行事によく参加しており、公私とが調和的だ。

中国-2

3 次の文章を読み、一～三に答えなさい。

調査時にはここに問題文が入る

一 本文中「**なつて**」を現代かなづかりに直して、ひらがなで書きなさい。

二 **【現代語訳】**の□に当てはまる語として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 察した イ 動いた ウ 決めた エ 答えた

三 次の語のおもしろさとして、ある生徒が次のようにまとめた。□に当てはまる内容を**十五字以内**で書きなさい。

坊主は「そこならではなおが届くまい。屋根くしがれ。」と
語ることから、「**腹は立**」の**小僧**が**お茶**を振つても、低く
て屋とは聞かないが、屋根に上れば□がで
きるので、**屋を落とせる**だろうと**考え**てしる事が分かる。
しかし、**読者は**、**屋根に上**が**つても**屋とは聞かないことが分かっ
ているので、**読者と坊主との**思惑の**ずれ**がおもしろさとな
がっている。

問題は次のページに続きます。

中国—3

中国—4

4 次の文章を読んだり、大きく書きなさい。

調査時にはここに問題文が入る

中国—5

中国—6

- 5 次の文章を読んで、1～4に答えなさい。
 (①～④は設問番号を示す。)

調査時にはここに問題文が入る

- 1 本文中の [] に当てはまる言葉を次のア～エの中から
 1つ選び、その記号を書きなさい。
 ア くすねなす
 イ はじけなす
 ウ 通いなす
 エ しただいなす
- 2 「本文中の二か所の [A]、[B] に入る、接続語の組合せとして最も適切なものを選び、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。
 ア A としるが B つまり イ A まだ B けれど
 ウ A えて B しかし エ A つまり B としるで
- 3 本文中の「それ作らな死の心、そのもの」とありますが、これと同じ意味を表す表現が、本文の別の会話文中から5文字を探し、抜き出して書きなさい。
- 4 本文中の「おしまなうた」について、この言葉の語を2文節で抜き出しなさい。
- 5 本文中「ほんとうにぞろぞろか——と顔で笑った」とありますが、楊はどうして、そのような気持ちになっただけですか。「父」「水るし」「ふり血」の三語を必ず使って、四十字以上五十字以内で答えなさい。

6 本文中、
 調査時にはここに問題文が入る

の部分をもとに音読するかを、木村さん、高橋さん、山田さんと話し合いました。

次の【話し合】を読み、山田さんとたどつて、【話し合】の中の [] に当てはまる文を本文中 [] より前の部分から探し、初めと終わりの5文字を抜き出して書きなさい。

【話し合】

木村さん：この部分は、楊の心の中から、楊の感情に関係なく、小さな声で読んだらどうなる。
 高橋さん：さうだね。でも、楊は自分の作ら作品を、父親にほめられたことがないんだから、誰にやらに読んだほうがいいのかもわからないね。
 山田さん：さうかな。僕なら、[] という楊の様子に着目して、怒りながら父をなで諭して思うよ。

- 一 本文中の「**暑ら**しります」について、単語の数を書きなさい。
- 二 次の一文は、本文中の〔A〕～〔D〕のどこに入れるのが最も適切ですか。一選を記号で答えなさい。

調査時にはここに問題文が入る

- 三 本文中「**いづそよ**重要性を押しします」とありますが、いづそよ重要性を増すのはなぜですか。「冷たい海」「熱」「腫」の三語を必ず使つて五十文字以内で書きなさい。

- 四 本文中「**五枚**」について、次のように〔7-1〕に書き出しました。〔7-1〕中の□に入る三つの言葉と、本文中の言葉を使って書きなさい。

〔7-1〕

○ペンキを塗るから守っている五枚の層

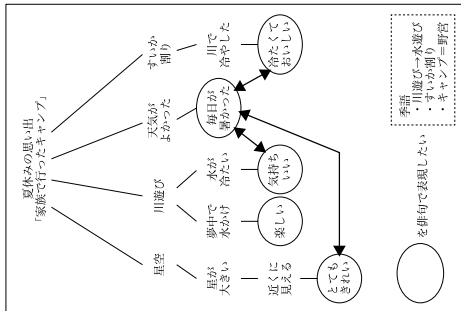
脂肪層・皮膚・□・□・□

- 6 伊藤さんの字級では、国語の時間に「夏休みの思い出」というテーマで「句会（自作の俳句を持ち寄り、批評し合う会）を行うことになっています。【資料1】【資料2】を読んで、あとの【問い】に答えなさい。

【資料1】伊藤さんが自作した俳句

我忘れ 暑らる忘れ 水遊び
すいか割り しやりことなない 暑る消え
つかみたり 野宮の夏の 星たちを

【資料2】伊藤さんが俳句を自作するときに書いた構図メモ



- 五 本文の述べ方について説明した文として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 最初に問題を提起し、それに答える形で、具体的な数値を示しながら述べた文章である。
- イ 例文を用いた文体で、客観的な視点による論理的な展開で述べた文章である。
- ウ 様々な資料を提示し、情報を比較しながら結論を述べた文章である。
- エ 予測される反論をいくつか示し、それぞれに答えるような構成で述べた文章である。

- 六 本文の段落分けについて、グループ文のように話し合いました。次の【話し合ひ】中の〔I〕には、本文中の言葉を四字で抜き出して書きなさい。また〔II〕、〔III〕には、本文の段落番号を書きなさい。【話し合ひ】

木村さん：前回の授業で、文章を「序論」「本論」「結論」の三つの意味段落に分けたとき「序論」は①、②で「本論」は③から④、「結論」は⑤だったね。「本論」をさらに分けるとすると、どうなるかな。

高橋さん：「本論」ではくさくさの議論のしくみについて、「一つめ」「二つめ」「三つめ」と順序を表す言葉を使って展開しているから、二つに分けられるんじゃないかな。

山田さん：本論の三つの段落を本論1、本論2、本論3とすると、本論2は「〔I〕」という言葉に注目して「〔II〕」で分けて、本論3は「〔III〕」で分けられるね。

中国—9

- 【問】伊藤さんになつたつもりで【資料1】から「句会」に出す俳句を句選び、【資料2】を参考に、選んだ理由を説明する文章を書きなさい。なお、書く際には、次の【条件】に従つて書きなさい。

【条件】

- 【資料1】から、どの俳句を選んだのかが分かるように書くこと。
- 文章では、次のことに必ず触れること。
 - 【資料1】から選んだ俳句の表現上の工夫。
 - 【資料2】から読み取れる、伊藤さんの感懐したこと。
- 百二十字以上百五十文字以内で書くこと。◆の印から書き始めること。

中国—10